



## 森林レンジャーがゆく (104)

### 第10期森の子コレンジャー始動

「市の自然を守り、自然や地域を愛する次世代を育てる」目的で活動している森の子コレンジャーは、今年度で10期目となりました。しかし、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策や台風の影響などで中止が続き、ようやく9月下旬に始動しましたが、内容などは感染症対策を取り入れたものに変更して実施しました。11月以降の活動も同様です。

今期は9人と少ない人数ですが、感染症対策をした上で野外活動が行える人数です。「新種を発見したい!」「見たことのない自然を見たい!」など、自然への探求心が強く、山を歩くことを起点に活動できる頼もしい子どもたちです。始動式の後、五日市周辺を歩きました。「珍しい生物を見たい!」と話していた仲間でしたが、この日何度も見かけたツマグロヒョウモンの雌やアキアカネの大群に見とれて中々先に進めないほど、身近な自然を再発見する里・川・山歩きとなりました。お昼ご飯は、山の上で仲間と距離をとっておしゃべりせずに食べようと決まったのですが、コレンジャー活動でこんなに静かなお昼時間は初めてでした。子どもたちは毎日学校でこんな感じなのか…と少し切なくなった時、ツクツクボウシとコオロギの鳴き声が!みんなでモグモグしながら「夏と秋の共演」に耳を傾けました。気持ち良い秋風が吹いて空を見上げると、遠くで鷹が渡っていました。私たちが静かにしていたからこそ、よりハッキリと自然を感じられたお昼の時間。活動後、パブコレンジャーと「子どもたちが大人になった時に思い出す情景の一つになればいいね」と話しました。

昨年までの「当たり前」が尊いものである今、子どもたちが自然と触れ合う機会が減少しているのは確かですが、全国では自然とつながる新たな手法が実践されています。コレンジャー活動も、今までの形にとらわれず新たな形を模索しながら、「地域の宝」を次世代につなぐ手助けになると信じて、自然に学ぶ活動を可能な限り実施したいと思います。(加瀬澤)

